

日本政府は 対話実現に 努力すべき

安倍政権は「いま対話のときではない」と公言し、もっぱら軍事的対応に終始しています。それでは国民の生命や安全、地域と世界の平和はまもれません。アメリカにたいし、「いまこそ対話にふみきるべき」と説くことこそ、日本政府のやるべき仕事です。

安保
理

北朝鮮制裁で全会一致

平和的解決こそ重要

国連安全保障理事会は11日、北朝鮮に対して石油輸出量の上限を設けるなどの追加の制裁決議案を全会一致で採択しました。問題の対話を通じた解決、緊張緩和のさらなるとりくみも強調しています。安保理では、制裁措置は北朝鮮を交渉のテーブルにつかせるという「目的のための手段」、危機を軍事で解決する

ことはできないなど、対話を求める声が相次ぎました。

戦争絶対おこすな

日本共産党の志位和夫委員長は同日、コメントを発表。北朝鮮に対し決議の履行、「非核化に向けた行動を強く求める」、「『戦争を絶対におこさない』ための自制と対話を関係各国に要請する」とのべました。

折り目

北朝鮮の核実験 ミサイル発射に きびしく抗議する

北朝鮮は、自制をもとめる国際社会を無視し、弾道ミサイル発射、核実験を強行しました。

日本共産党

世界平和と地域の安定をおびやかす、国連の安保理決議などに違反する暴挙であり、絶対に許せません。国際社会がもとめる「対話による解決」に逆行し、核兵器禁止条約を採択した世界の大勢に逆らう行為であり、日本共産党はきびしく糾弾します。

危機
打開へ

米朝は無条件で 直接対話を

アメリカと北朝鮮のあいだで軍事的緊張が高まり、「誤算」や「偶発的な事態」によって、双方の当事者の意図に反して軍事衝突がおこる可能性が現実にも生まれている——北朝鮮問題での「いまの最大の危険」はここにあります。この危機を打開するには、「米朝の直接対話」がどうしても必要です。

「北朝鮮は、これ以上の軍事挑発を中止せよ」「米朝両国は、直接対話にふみだせ」——日本共産党の提案が、いよいよ緊急・切実になっています。



問題解決の展望をズバリ提起する「しんぶん赤旗」をぜひお読みください

新しい政治の流れを

衆院比例予定候補

こくた恵二



党国対委員長
現・8期(京都1区重複)

宮本たけし



党衆院国対副委員長
現・3期

清水ただし



党准中央委員
現・1期(大阪4区重複)

堀内照文



党准中央委員
現・1期(兵庫8区重複)

わたなべ結



党大阪常任委員
新(大阪3区重複)

制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を衆議院比例代表は政党名で投票と書きます。参議院と違い個人名は無効です。

近畿民報

2017年9月 No.2(第296号) 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
発行/日本共産党国会議員団 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
近畿ブロック事務所 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。